

令和6年度 神科小学校 学校職員自己評価表

重点目標（中・長期的目標）		総合評価									
自分を大事にできる子・相手も大事にできる子		A・・・よくできた				B・・・できた		C・・・あまりできなかった		D・・・できなかった	
今年度の重点目標		成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策			
笑顔輝く楽しい学校 やさしさ・かしこさ・たくまし さ	①他者と関わる力 生活科、総合、特別活動の充実（力を合わせる）	低学年では生活科、高学年では総合、また、特別活動を充実させることができた。総合の学習には、各学級でかなり差があるように感じたので、学年である程度はそろえていきたい。				○		日々の授業（生活、総合を含めて）の充実に向けて、学年ごと年間計画を作成し、学年、学級独自の生活科、総合的な学習を推し進める。			
	②学びに向かう力 授業力向上、自ら探究的に学習し発信する取り組み（自分で考える）	学年に応じた指導方法で、本時に取り組むことや手順を明確にし、自分から学習に向かえる環境作りができた。学習意欲に差が見られる。また、基礎学力の定着に課題が見られる。				○		学び方や表現の仕方を自分で選ぶ場面を多く仕組んだり、自分に合った学び方や互いの個性を認め合う雰囲気作りをしたり、授業の中で相談しあったり考え合ったりすることを大切にしていく。			
	③挑戦する力 体力・自律心の向上（チャレンジする）	運動会や音楽会にむけて、一人一人がめあてをもって取り組み、練習してきたことを発表することができた。みんなで決めたことを頑張って取り組める児童が多いが、新しいことへのチャレンジには躊躇する姿が見られる。				○		体力面では、休み時間に教室にいる児童も多いように感じた。外や体育館などで体を動かせるように声をかけたい。また、休み時間のクロームブックの使用についても考えていきたい。			

対象	評価項目 （数字は上記の重点目標項目）	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
教育活動	教育課程	①②一人一人の実態に応じた指導・支援	1 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れるように、学習環境のユニバーサルデザイン化やスタートカリキュラム、道徳、人権同和教育に積極的に取り組むことができたか。	○				研究の成果を次年度に生かしていく。さん・くん呼びが、できるように繰り返し指導していく。道徳の授業の時間はもちろん、日々の生活の中で気になる言動についてはその都度指導していく。
		③体力づくりと運動に対する意欲の向上	2 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活動を通して、児童に体を動かすことの楽しさやできるようになる喜びを味わわせることができたか。	○				保護者アンケートからリレーや騎馬戦を行ってほしいという要望があったが、児童の実態を踏まえ考えていきたい。
	学習指導	②③「分かる・できる」の授業づくりと基礎学力の定着	3 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れなどを明示し、一人一人に見通しを持たせ児童が主体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。	○				学習に意欲的に取り組めない児童のやる気を引き出すために、さらに教材研究や工夫が必要である。
			4 授業終末のまとめ・ふり振り返りや朝ドリルを確実に行ったり、家庭学習の内容を工夫したりすることで、習熟・定着を図る指導ができたか。	○				家庭学習の在り方について考えていく必要がある。やらされている学習から自分から進んで行い、取り組んだことが成果につながる学習にしていきたい。
		②③学習習慣・学習規律の定着と「聞く子ども・話す子ども」の育成	5 「聞き方・話し方名人」「声のものさし」を活用し、「はい」の返事や話し方・聞き方などの習慣を身につけさせることができたか。	○				「聞き方・話し方名人」「声のものさし」を活用し、「はい」の返事や話し方・聞き方などの習慣を身につけさせていきたい。改善が見られない場合は、ほかの方法も考えていきたい。
	生徒指導	①あいさつを通じた心の交流	7 「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつの大切さを指導し、児童に実践力を身につけさせることができたか。	○				児童会での活動を大切にし、継続的に指導していきたい。
		①交流活動による全校の結びつきの強化	8 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流や互いを高め合うための場として位置づけることができていたか。	○				児童会連絡の時、短時間交流を図るなど工夫していきたい。
		③最後まで粘り強く取り組める子どもの育成	9 清掃や児童会の当番活動継続を行うことで、児童に主体性や粘り強さを身につけさせ、協力して働くことの大切さを味わわせることができたか。	○				黙想が子どもたちの中に位置づいてきた。清掃の取り組み方は、まだ個人差が大きいので、今後もその場所の清掃の仕方を丁寧に指導していきたい。
	その他	②③授業公開を通しての理解	10 授業改善を意識した授業や児童一人一人を大切にした授業を保護者に公開することで、学習指導・学級経営について保護者に理解してもらえたか。	○				授業改善を意識した授業や児童一人一人を大切にした授業を保護者に公開する機会は少ないため、学級通信などで発信していきたい。
		①②③学校からの発信による開かれた学校づくり	11 「学校だより」、ホームページ、「学年だより」、「学級だより」などで学校や児童の様子について保護者・地域に伝えることができたか。	○				保護者アンケートで、地域の人材を取り入れた教育活動について、「よくわからない」の回答が17%と多かったため、ホームページや学校だよりで発信していきたい。
		①②③地域と保護者と学校でつくるコミュニティスクール	12 ふれあい隊の方々やPTAと協力して、児童の登下校時の街頭指導や下校パトロールを行ったり、地区の危険箇所点検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。	○				自動車の交通量が多く危険なところが多いので、交通事故が起らないよう、引き続きご協力をお願いします。
			13 神科小コミュニティスクール（おたすけ十有志隊など）を活用し、地域や保護者の方々に児童の支援や授業づくりに参画していただくことができたか。	○				ご協力、本当にありがとうございます。子どもたちも大変喜んでます。引き続きご協力のほど、よろしくお願いします。
	研修	②③授業改善	14 日常的に授業を公開し、互いに見合い学び合うことを通して、授業改善のための研修を深めることができたか。	○				他の先生の授業を見ることは、大変勉強になるが自分の学級を自習するのは難しいので、短時間でも気軽に見合える雰囲気大切にしていきたい。